催吐リスク PTX(tri-weekly)

卵、体、頸(PTX175+CBDCA6)d1/c21d 子宮体

薬剤名	投与経路 投与量			希釈液			点滴	投与日(day)
パロノセトロン	注射	0.75	mg				時間	
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg				(分)	1
ファモチジン	注射	20	mg					1
デキサメタゾン	注射	16.5	mg	生食	100	mL	30	1
パクリタキセル	175	mg/m2		5%糖液	250	mL	180	1
カルボプラチン	6	AUC		5%糖液	250	mL	60	1
						mL		
						mL		
						mL		

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球≥2000/mm³、好中球≥1000/mm³)

好中球>1,500/μl

血小板 >100,000/μl. (CTCAE Grade 0-1).

血清クレアチニン<1.5 x institutional upper limit normal (ULN)

ビリルビン< 1.5 x ULN

GOT and alkaline phosphatase < 2.5 x ULN

神経障害がない

PT INR <1.5, APTT < 1.2x ULN

- Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)
- ・好中球減少性発熱を来した、もしくは好中球<500/µ1が7日以上持続した場合
- •Grade 4 の血小板減少を来した場合
- →カルボプラチンの AUC を1減量

GOTもしくはALPがGrade 3以上の時、パクリタキセルを135mg/㎡に減量

Grade2 以上の末梢神経障害出現時、パクリタキセルを 135mg/㎡に減量

Ⅳ. 重大な副作用(例:好中球減少 Grade3 以上37.5%) 好中球減少症 Grade 4 以上 57.7% 好中球減少性発熱症 3.5% 消化器障害 Grade 2 以上 1.2%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

N Engl J Med 2011; 365: 2473